

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目は現行試薬の販売中止を受け、本年12月より同一メーカーが販売する改良試薬、及び専用容器に変更させて頂きまますので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

記

変更期日

平成24年12月13日(木)受付日分より

変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
738097	クラミジア・トラコーマチス同定PCR	測定方法 検体量 採取容器 報告日数	リアルタイムPCR法 ぬぐい液(冷蔵) 新専用容器(裏面参照) 3～4日	PCR法 ぬぐい液(冷蔵) 専用容器(変更後受託不可) 4～5日	測定用試薬の変更
738803	クラミジア・トラコーマチス同定PCR	測定方法 検体量 採取容器 報告日数	リアルタイムPCR法 初尿 4.5 mL(冷蔵) 新専用容器(裏面参照) 3～4日	PCR法 初尿 8 mL(冷蔵) 専用容器(変更後受託不可) 4～5日	測定用試薬の変更
738797	淋菌同定PCR	測定方法 検体量 採取容器 報告日数	リアルタイムPCR法 ぬぐい液(冷蔵) 新専用容器(裏面参照) 3～4日	PCR法 ぬぐい液(冷蔵) 専用容器(変更後受託不可) 4～5日	測定用試薬の変更
738903	淋菌同定PCR	測定方法 検体量 採取容器 報告日数	リアルタイムPCR法 初尿 4.5 mL(冷蔵) 新専用容器(裏面参照) 3～4日	PCR法 初尿 8 mL(冷蔵) 専用容器(変更後受託不可) 4～5日	測定用試薬の変更

(注) 裏面もご覧ください

(株)チューケン 日本医薬中央研究所

URL:<http://www.chuken-group.co.jp>

変更内容(続き)

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
750497	淋菌／クラミジア・トラコーマチス同時検出PCR	測定方法 検体量 採取容器 報告日数	リアルタイムPCR法 ぬぐい液(冷蔵) 新専用容器(下記参照) 3～4日	PCR法 ぬぐい液(冷蔵) 専用容器(変更後受託不可) 4～5日	測定用試薬の変更
750703	淋菌／クラミジア・トラコーマチス同時検出PCR	測定方法 検体量 採取容器 報告日数	リアルタイムPCR法 初尿 4.5 mL(冷蔵) 新専用容器(下記参照) 3～4日	PCR法 初尿 8 mL(冷蔵) 専用容器(変更後受託不可) 4～5日	測定用試薬の変更

新旧二法の比較

クラミジア・トラコーマチス同定DNA

検体種別:尿 (n=145)		現法		
		陽性	陰性	合計
新法	陽性	49	2	51
	陰性	0	94	94
	合計	49	96	145

一致率:98.6%

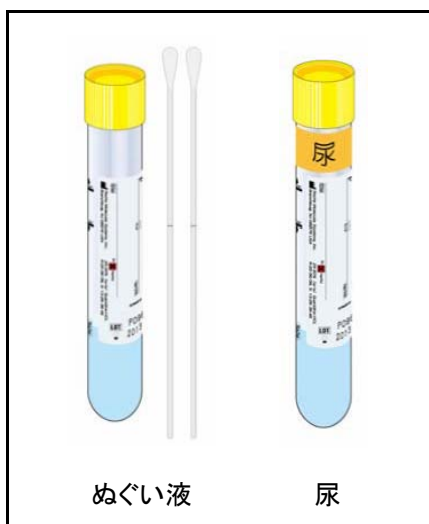
淋菌同定DNA

検体種別:尿 (n=145)		現法		
		陽性	陰性	合計
新法	陽性	49	1	50
	陰性	0	95	95
	合計	49	96	145

一致率:99.3%

採取容器

新専用容器

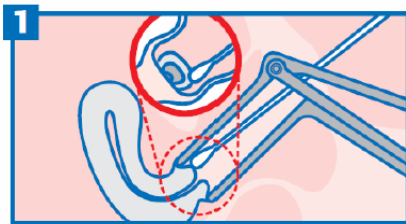


注意事項

- 変更期日以降は、左記の容器でご提出いただけますようお願いいたします。
- 従来の容器を使用しての検体の採取及び、提出はご遠慮ください。
- 採取方法につきましては、別紙をご参照ください。

検体採取法の手引き

子宮頸管擦過細胞の採取方法



子宮頸部の粘液除去

スワブ検体採取セット付属の1本目のスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭い取ります。

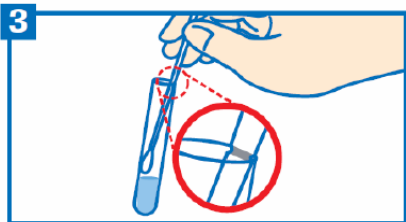
注意 粘液を拭ったスワブは廃棄します。



子宮頸管検体の採取

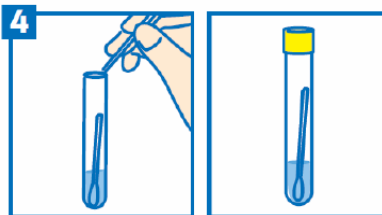
付属されている2本目のスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(まわし過ぎないでください。)スワブを引き抜く際は膣の粘膜に触れないように注意してください。

〔検体採取の注意事項〕
検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。



子宮頸管検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端の綿球が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線で折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

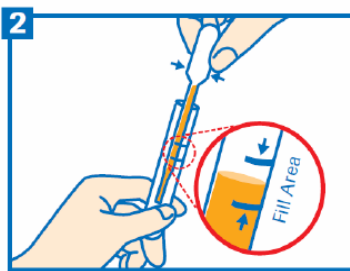
尿の採取方法



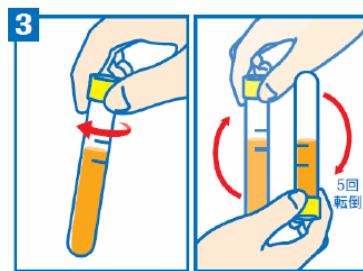
尿検体の採取

滅菌済み容器に初尿を採取します。滅菌済みスポイトを用いて、初尿をコバスPCRメディアに移します。

注意 初尿は採取後2~30℃で24時間以内にPCRメディアに移してください。



コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。



尿検体の保存

コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。

コバスPCRメディアを5回転倒混和させてください。

〔検体採取の注意事項〕

- 最後の排尿から少なくとも1時間以上経過していることを確認してください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。